

レジメン名	mFOLFOX 6 + エポルマブ 療法	mFOLFOX 6 + エポルマブ (1) 【q 1 4 d】
がん種又は疾患名	治癒切除不能な進行・再発胃癌	

承認されたレジメン	承認されたカスタマイズの範囲
day 1	
<本体1> 生理食塩液 50mL 6分 *0.2又は0.22ミクロンのインラインフィルターを使用すること	
<本体2> 生理食塩液 100mL 30分 オプジーボ 240mg	全量100mLに調製する 240mg/body
<本体3> 生理食塩液 50mL 6分	血管保護のため必ず何かを流す
<本体4> パロノセトロン0.75mg/50mL 1袋 デキサメタゾン 9.9mg 生食 100mL 30分	アロキンを他の5-HT3拮抗薬に変更してもよい
<側管 a> レボホリナート 200mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 250mL 2時間	オキサリプラチンの側管から投与
<本体5> オキサリプラチン 85mg/m <sup>2</sup> <側管 a>と同時開始 5%ブドウ糖 250mL 2時間	オキサリプラチン注は錯化合物であるので他の抗悪性腫瘍剤と混合しない。 オキサリプラチン注は塩化物含有溶液により分解するため、 生理食塩液等の塩化物を含む輸液との配合を避けること。
<本体6> 5-FU 400mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 50mL 全開で	
<本体7> 生食 50mL 全開で	
<本体8> 5-FU 2400mg/m <sup>2</sup> デキサメタゾン 1.65mg 生食 全量 140mLになるように 46時間	生食は インフューザーポンプ 使用時は全量140mLとなるよう調製する ポンプを使用しない場合は生食バッグ1000mLを使用する
day2,3	
<内服> デカドロン錠 8mg 分2 朝・昼食後	*投与後2、3日目のステロイド (デカドロン8mg/day：経口)を投与する (遅発性の制吐目的)。
day 3	
<本体 1> エポルマブ注射液 10mL 1筒 本体終了時	